

平成29年7月12日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部普及課

登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。

記

農薬名：ヤブサメ豆つぶ250（登録番号：第23552号）

適用拡大登録月日：平成29年7月12日

適用拡大登録内容：

- 作物名「移植水稻」に適用雑草名「アミドロ・藻類による表層はく離」を追加する。
- 作物名「移植水稻」の使用方法「湛水散布又は湛水周縁散布」を「湛水散布、湛水周縁散布又は無人ヘリコプターによる散布」に変更する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	ピリミスルファンを含む農薬の総使用回数	フェニキサスホンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホトイ ウリカワ ヘラモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ ミスガヤツリ アミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ ルビエ2.5葉期 但し、 移植後 30日まで	250 g/10a	1回	湛水散布 湛水周縁散布 又は 無人ヘリ コプター による散布	2回以内	2回以内	2回以内

注意事項の変更：

【追加部分】

- 無人ヘリコプターで散布する際は以下に注意すること。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施する。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布する。
 - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5 m以上離して圃場内に散布する。
 - 水源池、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。

【変更前】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2. 5葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ヘラオモダカ、ウリカワ、ミズガヤツリは2葉期まで、ホタルイは3葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期までが本剤の散布適期である。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態（水深5～6 cm）にして水の出入りを止めること。

【変更後】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2. 5葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ヘラオモダカ、ウリカワは2葉期まで、ホタルイ、ミズガヤツリは3葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である
- 湛水散布または湛水周縁部散布の際は、やや深めの湛水状態（水深5～6 cm）にして水の出入りを止めること。

【水産動植物に有毒な農薬については、その旨】

【追加事項】

- 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意すること。

以上